

令和5年度 第1回 学校法人木村学園 大阪電子専門学校  
情報エンジニア科 学校関係者評価委員会

【日 時】 令和5年8月4日（金）10:00～10:30

【場 所】 大阪電子専門学校 3階コワーキングスペース

【出席者】

（学校関係者評価委員：敬称略 順不同）

大音 和豊	株式会社モノプラス（委員長）
吉田 剛	株式会社ベルチャイルド（Zoomでの参加）
佐々木 啓	久米電気株式会社
小森 望充	国立大学法人九州工業大学

（弊学園教職員：学校関係者評価委員には含まない）

木村 誠	学校長
上田 良和	教育改善ユニット・電気設備科班長
中本 智	情報エンジニア科班長・就職担当・情報エンジニア科2年担任
刀根 辰樹	情報エンジニア科1年担任

【議案】

1. 令和4年度自己評価報告書の報告と質疑応答
2. 令和5年度情報エンジニア科学生アンケートについて

【議事録】

1. 令和4年度自己評価報告書の報告と質疑応答

（本議案については評価委員重複のため、8月1日の電子工学科における学校関係者評価委員会の議事録を代替とする。以下には、電子工学科の会議議事録を記載する。）

令和4年度の自己評価報告書について以下の報告がなされた。

（1）評価項目の修正

- ・評価の1～4の数字およびその根拠を加筆修正した旨の報告

（2）評価項目の評価方法の明確化

- ・数値に根拠を持たせるために、評価項目内に達成事項を記載している。

- ・達成事項の内容に対する達成数に応じた評価とする。

### (3) 評価項目の評価方法について意見

- ・達成事項取り組んだ内容について、その結果の内容を得点にしないのかとの意見があった。
  - ⇒ 実施したという事実だけで良いのか、それとも内容が重要なのか。
  - ⇒ 本評価では、実施したかという事実のみで考えている。システム的な判断となるが、フィードバックして次年度の改善に盛り込むのであれば、PDCAサイクルも回るため大丈夫と考えている。
- ・JABEEと同じで、客観的に評価できるエビデンスの提出を求められているのか。
  - ⇒ 例：教育理念を学生に周知した場合、どこでどのような方法で周知したというエビデンスが必要であるため。
- ・学科ごとに分ければその学科に即した評価が作成できるのではないか。
- ・成果に対して課題を付与できれば、より良いものになるのではないか。

## 2. 令和5年度情報エンジニア科学生アンケートについて

令和5年度の学生アンケート案についての報告がなされた。

### (1) 学生アンケート案の報告

- ・授業の進度が早く難しい。授業を深掘してほしい。人数が多く質問し辛い。
  - ⇒ 学生がどこまで理解しているか把握できるようにカリキュラムを変更して開講している。年度末の資格取得状況で本カリキュラムで満足できるか評価を行う。
- ・就職支援についてという項目を付け加える予定
  - ⇒ 学生から見た学校の就職支援は十分であったかそうでないか。大きな枠組みの中の項目の1つとして追加する予定である。
- ・フード自動販売機について
  - ⇒ 学生生活の質の向上のために項目として挙げている。自動販売機で売なのか、弁当の注文とするのか、今後議論する必要がある。

### (2) 委員からの意見

- ・アンケートのどこにカリキュラム変更についての内容が盛り込まれているか。
  - ⇒ アンケートの授業科目についての変更のみで、授業内容はアンケートの内容として反映できていない。
- ・就職支援についてという項目を付け加えて頂きたい
  - ⇒ 学生から見た学校の就職支援は十分であったかそうでないか。大きな枠組みの中の項目の1つとしてあっても良いのではないか。